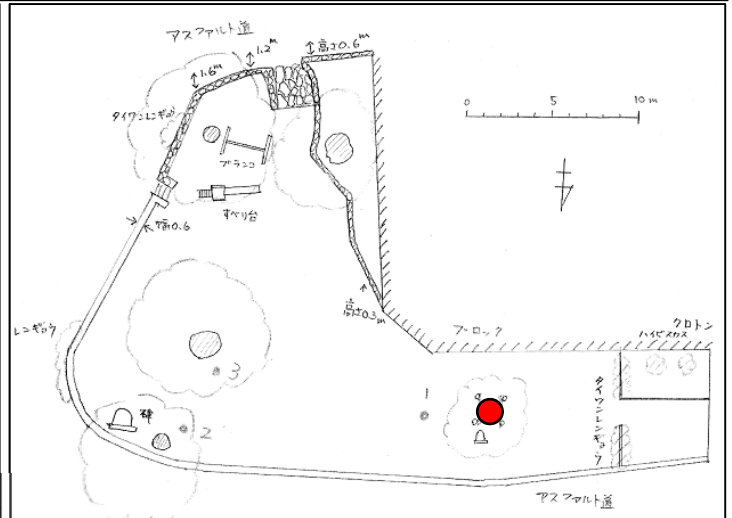


波平アシビナーのガジュマル(5)



認定番号 13-5

樹種名	ガジュマル	科名	クワ科	方言名	ガジュマル	学名	<i>Ficus microcarpa</i> L.f.					
形状・寸法	樹高 5.5 m	胸高周囲 3.3 m	根本周囲 3.7 m	樹幹占有面積 26 m ²								
	枝下高 3.1 m	枝張 東 3.6 m	西 1.9 m	南 3.5 m	北 2.6 m	最大樹冠幅 6.1 m						
通称	アシビナーのガジュマル		樹齢	50年(推定)								
所在地	読谷村字波平18-1											
立地場所	①公園 2庭園 3個人の庭・屋敷											
	4公共施設 5学校 6神社寺院 7拝所 8市街地 9街路 10その他											
保護制度	1国指定天然記念物 2県指定天然記念物											
	3市町村指定天然記念物 4景観重要樹木 5保存樹 6名木 7その他 ⑧なし											
周囲の状況	1樹林 a大面積山林 b小面積山林											
	2芝地 3耕地 ④建物の間 ⑤道路 6河川 7湖沼 8その他 ()											
土地傾斜	①平坦(0~5°) 2緩(5~15°) 3中(15~30°)											
	4急(30~45°) 傾斜方向:											
土壌	1堆積土 2切り土											
	③盛土 4客土 5その他 ()											
基岩・母材												
地形	1山地 2丘陵地 ③台地 4平地											
	5尾根 6中腹 7谷 8窪・窪 9カルスト 10埋め立て地 ⑪海岸段丘 12その他											
土性	1砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる											
	2壤土:砂と粘土が半々 ③埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4埴土:ほとんど砂を感じない											
根元及び周囲の植生	草本 ①密生 2疎 3なし											
	低木 1密生 2疎 ③なし											
所有者	1国 2県 3市町村 ④その他公有											
	5社寺 6個人 7会社 8その他民有 9不明 備考:平安座自治会所有											
状況	①単木 2樹叢中 3樹林中											
	4その他											
気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月					
	平均気温(°C)	16.8	17.9	18.4	20.9	23.6	26.9					
(最寄りのアメダスデータ)	降水量(mm)	36.5	55	51.5	36.5	66.5	117.5					
	平均風速	5.0	5.4	5.6	5.1	4.9	5.1					
地点:那覇	風向	NNW	N	SW	ESE	S	SSW					
	月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
2014年	平均気温(°C)	29.3	28.7	28.8	25.4	22.6	17.6					
	降水量(mm)	212.0	70.5	36.5	252	30	34.5					
2014年	平均風速	6.3	4.6	4.2	6.7	5.1	5.7					
	風向	SE	SW	SSE	ENE	NNE	N					
年平均気温	23.1 °C		最高気温 33.9 °C									
	年降水量 2584.5 mm		最低気温 10.6 °C									
潮風の影響	1なし ②ややある 3ある 4やや強く受ける											
	5強く受ける(特記)											
日照条件	①良い 2普通 3やや不良 4不良											
周辺樹木の影響	①なし 2わずかにある 3ある 4かなりある											
	5深刻((状況))											
周辺根元の状況	1土壌の固結がなくきわめて良好											
	②固結はあまりなく概ね良好 3固結している a踏圧あり b踏圧なし											
周辺樹木との関係	①影響なし 2僅かに影響を受けている											
	3かなり影響を受けている 4深刻な影響を受けている											

管理状況	1 柵 a有 ②無 (有の場合の高さ m、材質() 柵内面積 (m ²) 設置年										
	2 支柱 ③a有 b無										
過去の治療歴と内容	3 剪定 ④a強 b弱 c無 d枝折等の都度処理										
	4 施肥 a有 b無 (有の場合 回数 種類)										
故事来歴	5 薬剤散布 a有 b無 (有の場合 回数 種類)										
	6 解説板 a有 ⑤b無										
視認性	7 避雷針 a有 ⑥b無										
	8 定期的な草刈・掃除 ⑦a有 b無										
特記事項	9 その他										
	1 無										
視認性	2 信仰対象										
	3 禁忌(タブー)										
特記事項	4 祭事 a有 b無										
	5 いわれの内容										
特記事項	6 不明										
	1 遠方からも目立つ ②近くに行けば見える 3直前まで見えない										
特記事項	4 敷地内にはいるとよく見える 5敷地内に入っても見えない (理由)										
	1 動物生息 a有 ③b無 (有の場合動物の種類)										
特記事項	2 着生植物 ④a有 b無 (有の場合植物の種類 アコウ、フクマンギ、オオイサ、キクラゲ、ヒラタケ)										
	3 見学・参観者 a有 b無 (有の場合その数)										
特記事項	4 その他 生徒・父兄等										

地上部の衰退度判定（認定番号13-5）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多、胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 1.82

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

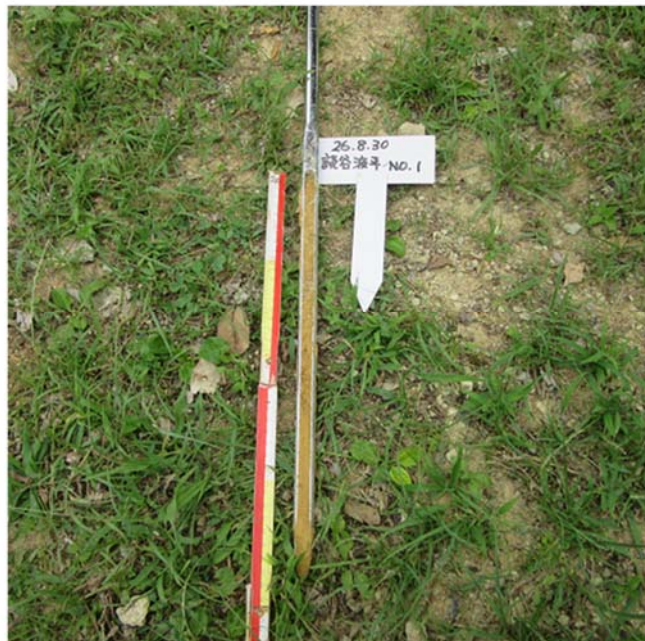
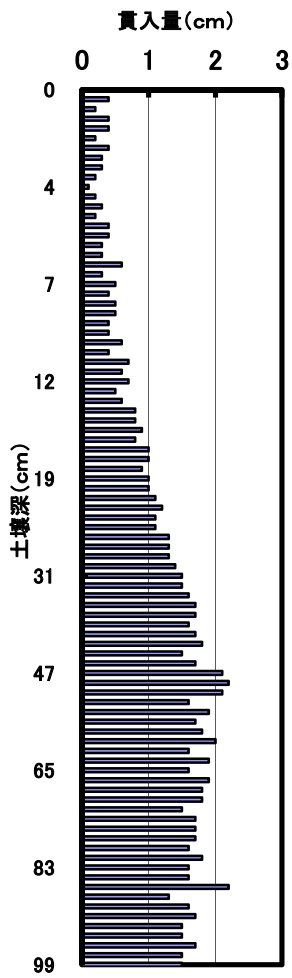
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り	○			
幹折れ	○			
大枝折れ	○			
中・小枝落下		○		
幹の傾斜の増大	○			
その他()				

土壤調査結果 (認定番号 13-5)

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)
I	10YR4/6	0-6	-	壤土	8.1	1.18
II	7.5YR5/6	6-21	-	埴壤土		
III	7.5YR5/6	21-30	-	埴壤土		

土壤貫入量結果



アシビナーのガジマル

部位	所見	対応
土壌	<ul style="list-style-type: none"> ・半径2m、高さ30cmのマウント上に移植されている。 ・マウントの土壌条件は良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無し。
根	<ul style="list-style-type: none"> ・根の東側半分は枯死している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外科的な処置が必要と考える。
幹	<ul style="list-style-type: none"> ・高さ1.8mで幹が切断されており、辺材部の腐朽が著しく進行している。 ・幹の東側は15cmの深さまで腐朽している。 ・東側を中心に枯死比率100°以上見られる。枯死部分にイチジクカミキリの食害痕、キノコ(種不明)が認められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外科的な処置が必要と考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・数本の気根が1.5mの高さで癒着し、1本の幹となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気根を養生し支柱根に仕立てるのが望ましい。
枝	<ul style="list-style-type: none"> ・幹の腐朽部付近から生じた枝の強度が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な観察が必要と考える。成長の度合いによって枝を剪定することが望ましい。
葉	<ul style="list-style-type: none"> ・やや小さい程度。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無し
備考		

